

「ACEFコミュニケーション第一号」を見ますと三日間にわたる第一回セミナーの様子が次のように語られています。「初日、開会礼拝 加藤常昭先生、主題講演 隅谷三喜男先生、古屋安雄先生、二



あみもねこり  
আমি মনে করি

「アジアキリスト教教育基金」二五周年おめでとうございます。創立時代の大黒柱であった隅谷三喜男先生、DRマラカールは既に天に召され、万感の思いがいたします。

「更なる25年を目指して」

聞く。最終日は、熊沢宣先生講演。内容が濃すぎた。勉強会と言うよりは、信仰の養いの場であった。第二回セミナーのお知らせが出ており「定員四〇名、参加費一万五千円」とあります。



日目、粕谷甲一先生。そして昼食抜きで山谷へアルミ缶拾い。山谷では戸村政博先生、加山久夫先生講演。晩禱の後、船戸良隆先生と午前三時まで筑豊、ベトナムの経験を

船戸良隆

ふなと よしたか  
日本キリスト教団勝沼教会牧師／当会顧問

しかし、現在、わたしたちにとって「昔は良かった」式の懐古にふけている暇はありません。二五年先を考えましょう。二五年先になっても、まだBDPは「自立」していかないのか、まだ援助が必要なのか、と言う人がいるかも知れません。このような発想をする人は、ACEF運動を一種の援助活動と見ている人です。ACEF運動は、その発当初から、援助ではなく「共働」運動です。パングラから多くを学んでいます。この運動を通じて何人の若者がアジアに献身したか、枚挙にいとまがありません。これからも共に学びつつ歩んでいきましょう。

「あみもねこり」とは「私は思う」という意味のベンガル語です。



BDP 卒業生との集いに喜びあふれて



ACEFスタディツアーメンバーと共にBDPトレーニングセンターにてガジプール県プーパイル（撮影：天野海走）

ACEF  
エイセフ コミュニケーション  
COMMUNICATION

no. 50

1部50円にておわけします。(送料別)

The Asia Christian Education Fund  
(特活) アジアキリスト教教育基金  
〒162-0044  
東京都新宿区喜久井町 4-1  
新宿支部印刷会館ビル 4F  
Tel. & FAX. 03-3208-1925  
郵便振替 00100-0-185540  
口座名 アジアキリスト教教育基金  
E-mail: acef@acef.or.jp  
http://www.acef.or.jp

バングラデシュに寺子屋を贈ろう

祈りと労働をもって

パキスタン



- 第1面  
あみもねこり (巻頭言)  
船戸良隆氏
- 第2面  
BDP ニュース  
BDP 卒業生同窓会
- 第3面  
BDP スタッフ紹介  
ミルプール地区ビッティーさん
- 第4面  
ACEF スタディツアー報告
- 第5面  
ACEF セミナー講演要旨  
「国際教育協力の国際的潮流とこれから」 西村幹子氏
- 第6面  
グローバルフェスタの様子
- 第7面  
BDP 卒業生の声  
若い方々の ACEF への関心
- 第8面  
前田恭子事務局長退任  
2016 春スタディツアーご案内